令和７年度 決算を認定

９月定例会

あらまし

９月定例会は、９月１日から11日まで開催されました。

町長から提出された議案は、専決処分の報告１件、令和７年度決算認定４件、令和８年度補正予算10件、条例の制定１件、条例の一部改正１件、人事案件１件、財産の取得１件であり、すべて原案のとおり、認定・可決・同意しました。

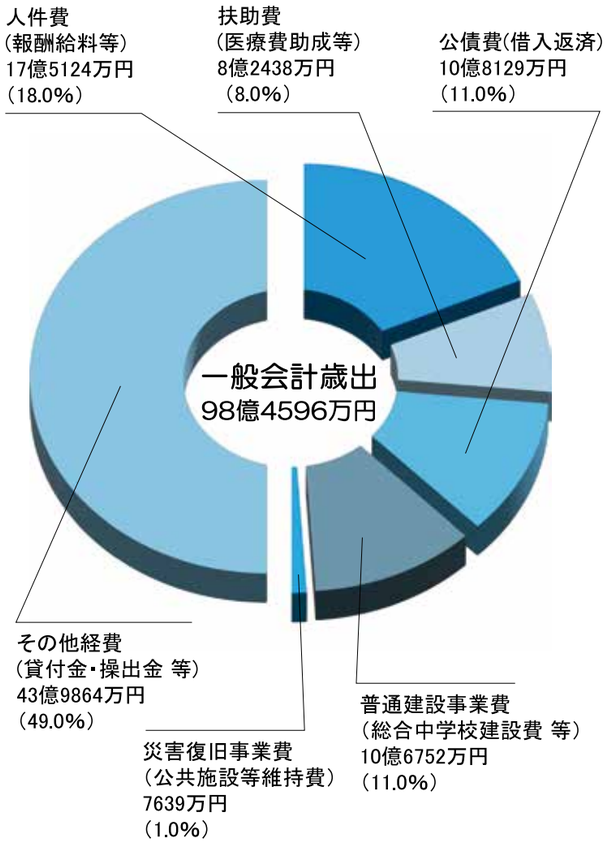
一般質問は７人の議員により行われました。

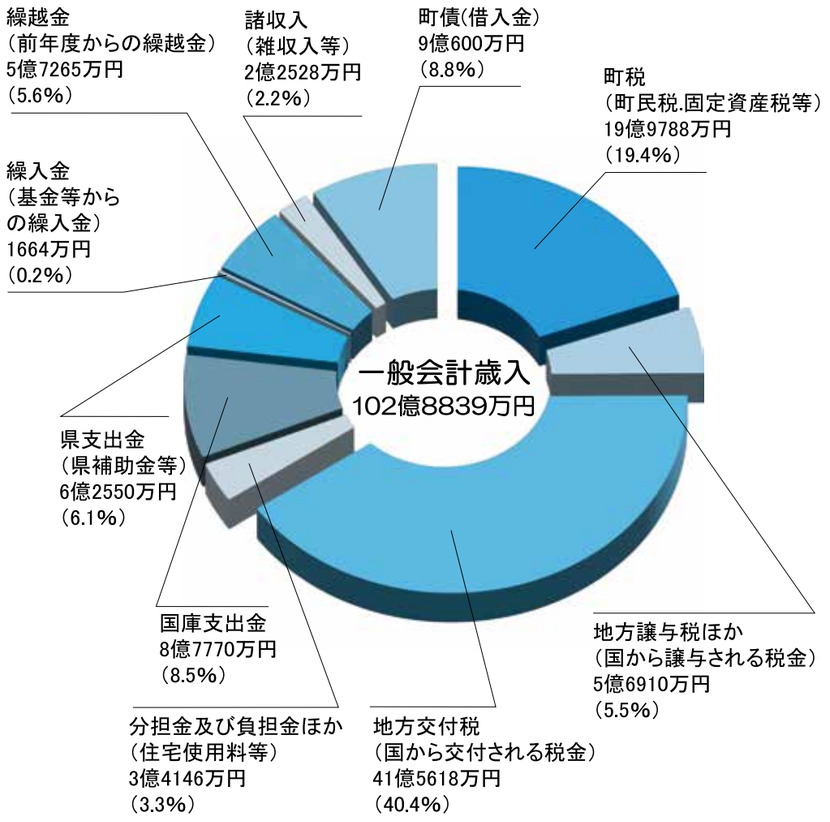


町民一人当たり
817,296 円を
使いました
（前年比 98,919 円減）

議　会　費	7,966 円
総　務　費	156,437 円
民　生　費	135,979 円
衛　生　費	62,269 円
農林水産業費	55,215 円
商　工　費	41,773 円
土　木　費	118,882 円
消　防　費	37,866 円
教　育　費	111,152 円
公　債　費	89,756 円

※令和8年3月末人口12,047人で算定





令和７年度末 町債 残高

一般会計79億8683万円（前年比 1億4230万円減）

※町債→大きな事業をするために借り入れるお金のこと。

区分	令和7年度	令和6年度	令和5年度
財政力指数	0.370	0.373	0.370
経常収支比率	90.5	91.0	91.5
実質公債費比率	9.7	9.5	9.7
将来負担比率	14.4	27.5	28.6

財政力指数とは？

１に近く１を超えるほど財源に余裕があるとされている。

経常収支比率とは？

財政構造の弾力性を判定する基準で、７５％以下が望ましいとされている。

実質公債費比率とは？

歳入に対する公債費の占める割合で、２５％で早期健全化に該当するとされている。

将来負担比率とは？

一般会計の負債が一般会計の標準的な年間収入の何年分であるかを表す割合で、３５０％で早期健全化に該当するとされている。

令和７年度　会計別決算額

会計		歳入決算額	歳出決算額
一般会計		102億8838万円	98億4596万円
特別会計	国民健康保険	14億4284万円	14億2050万円
	後期高齢者医療	2億4429万円	2億4358万円
	介護保険	19億252万円	18億7337万円
病院会計	収益的収支	9576万円	1億92万円
	資本的収支	614万円	614万円
水道会計	収益的収支	4億1225万円	3億2821万円
	資本的収支	7802万円	2億7420万円
下水道会計	収益的収支	6億4416万円	6億6964万円
	資本的収支	2億5744万円	4億5029万円

※単位未満の端数切り捨て。
※財産区特別会計の決算額については省略。